取扱説明書 OT-200Kシリーズ

OT-200K　OT-200KL1　OT-200KH　OT-200KR
OT-200K VK　OT-200KL1 VK　OT-200KH VK　OT-200K MC

タンクの設置は火災予防条例に従ってください。火災予防条例はお近くの消防署でお聞きになれます。

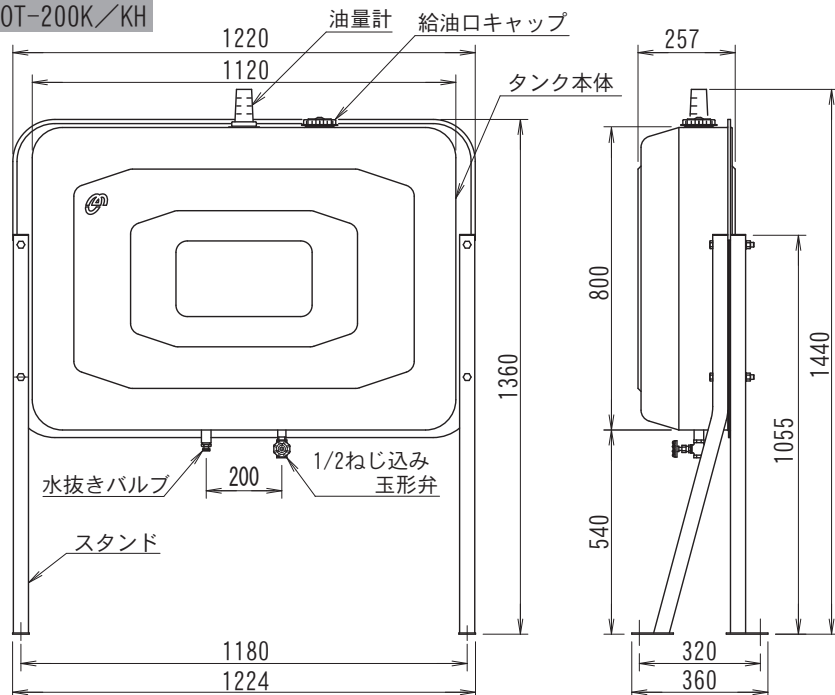
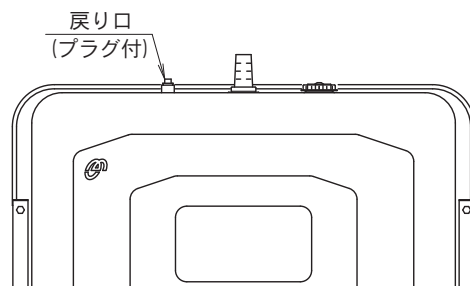
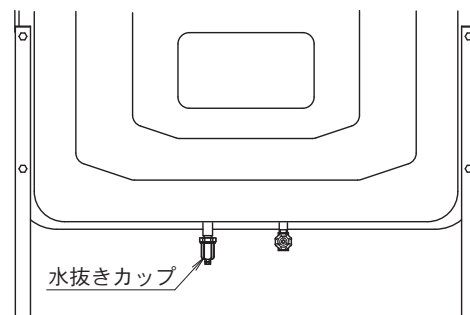
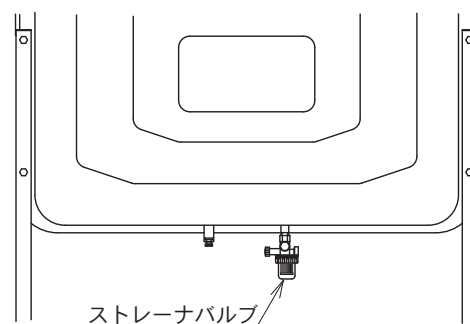
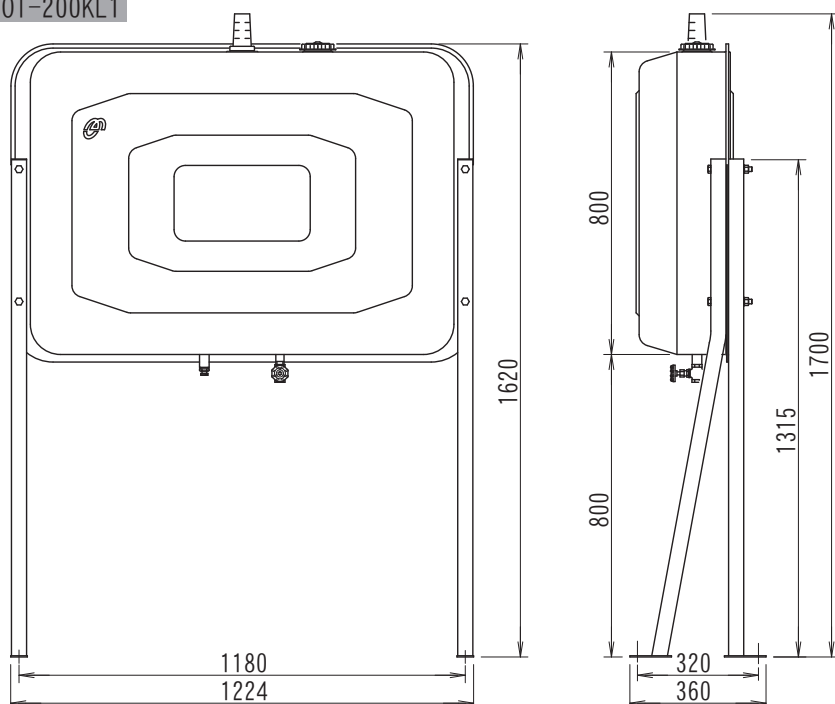
仕　様

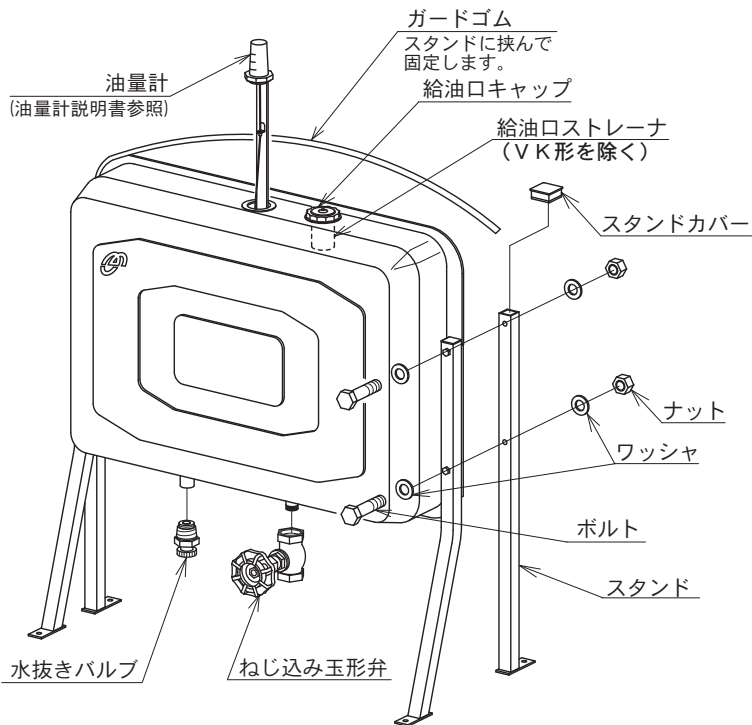
※ VK形には「ストレーナバルブの取扱い」説明書　MC形には「水抜きカップの取付方」が付いておりますので合わせてご覧ください。

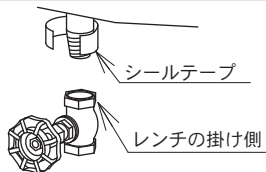
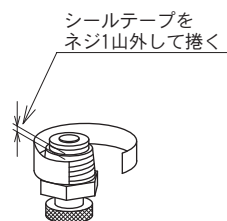
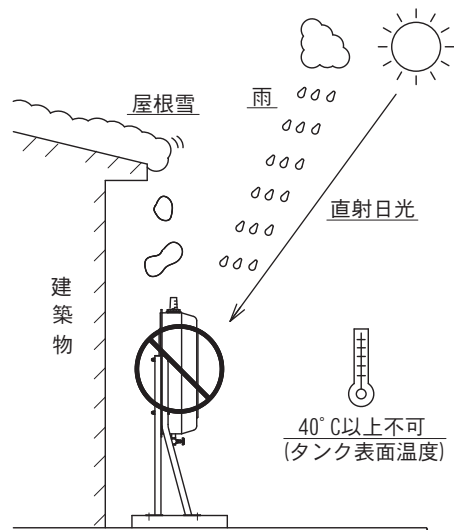
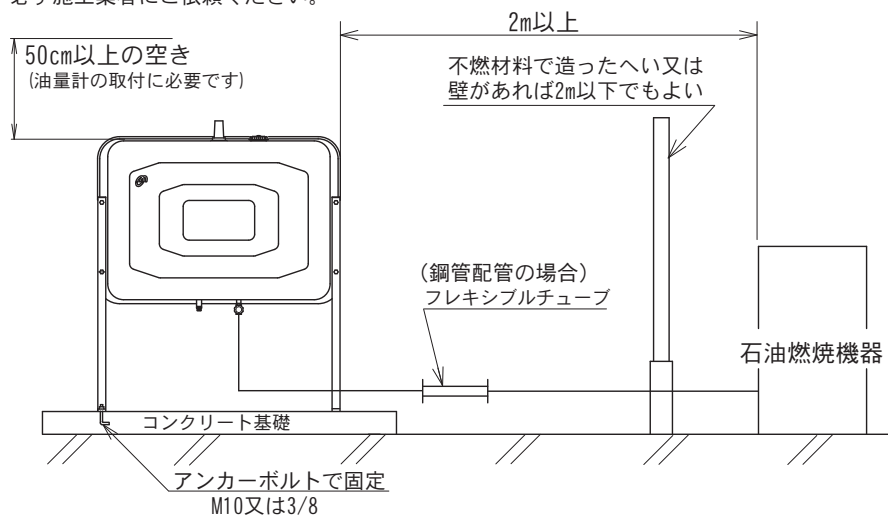
形　式　名	共通仕様	送油口	送油バルブ形式	備　考
OT-200K	容量（内容積） １９２（２１３）ℓ タンク材質 亜鉛めっき鋼板 板厚=1.6mm 塗装色 本　体 アイボリー スタンド グレー	ニップル1/2	1/2ねじ込み玉形弁	基本型
OT-200K VK※			ストレーナバルブ	給油口ストレーナは付属しません
OT-200KL1			1/2ねじ込み玉形弁	ロングレッグ型
OT-200KL1 VK※			ストレーナバルブ	ロングレッグ型　給油口ストレーナは付属しません
OT-200KH			1/2ねじ込み玉形弁	耐塩仕様型（三重塗装 ステンレスパーツ）
OT-200KH VK※			ストレーナバルブ	耐塩仕様型 給油口ストレーナは付属しません
OT-200KR			1/2ねじ込み玉形弁	戻り口ソケット(1/2)付
OT-200K MC※			1/2ねじ込み玉形弁	水抜きカップセット付

形 状 図

503SB

株式会社
オーティ・マットー
〒924-0852　石川県白山市四ッ屋町1234
TEL 076(275)3185　FAX 076(275)3187
http://www.ot-matto.co.jp

初めてタンクを組み立てるお客様へ

・VK形をお買い求めのお客様は送油バルブの取付・扱い方について「ストレーナバルブの取扱い」をご覧ください。
・MC形をお買い求めのお客様は水抜きカップの取付・扱い方について「水抜きカップの取付方」をご覧ください。

組立時のご注意
・下図の指定個所にシールテープを正しく捲いてねじ込んでください。
※付属のシールテープはサンプルです。ホームセンターなどでお買い求めください。

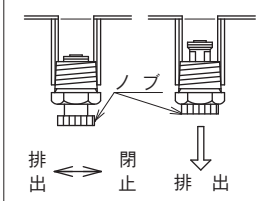
・配管後20リットル程度灯油を入れ、漏れがないか確認してください。

ねじ込み玉形弁	水抜きバルブ
シールテープ レンチの掛け側 ・レンチを矢印側にかけてください。反対側にかけるとネジが変形して配管材がねじ込めなくなる場合があります。 ・ねじ込み過ぎるとバルブ内の変形で漏れることが有ります。	シールテープを ネジ1山外して捲く シールテープは巻き方向に注意して2〜3巻きしてください。

設置時のご注意

初めてタンクをご使用になるお客様へ

タンクの水抜き

タンクにはタンク内の結露などにより水が溜まる場合が有ります。放置しておくとタンクの寿命が短くなったり燃焼機器の故障の原因になります。月に1回程度水抜きを行ってください。

水抜き方法

1．水抜きバルブの下に500cc程度の容器を置き、バルブを開き容器に半分程度排出します。
2．容器に溜まった液体が分離していれば水が混入しているので、いったん容器を空にして再度排出します。
3．これを分離しなくなるまで繰り返します。
4．バルブの操作は間違えやすいので特に注意してください。

取り付けた状態でノブを下から見て反時計回りに廻すと排出になります。

変質油　戻し油

タンクには油業者が直接給油するような清浄な灯油を入れてください。ドラム缶に貯めておいた油や素性の判らない油を入れると、タンクが錆びたり穴があいたりする場合が有ります。

ストーブのカートリッジなどから戻し油をする時は必ず給油口ストレーナを通して戻してください。

給油口ストレーナが無いVK形は、バルブのストレーナの汚れ具合に注意してください。

水抜き剤について

一般に「水抜き剤」又は「さび止め剤」として売られている液体は、主成分のイソプロピルアルコールがタンクの塗装やゴム、プラスチック部分を溶かすなどの悪影響を与える場合もありますので、ご使用の際にはご承知おきください。